

《第13回病態栄養セミナー開催！！》

平成26年10月5日(日)、品川フロントビル会議室にて、(株)武蔵野フーズ主催の病態栄養セミナーが開催されました。主に病院に勤務されている管理栄養士様をお招きしてきました当セミナーも、今回で第13回を迎え認知度も向上し、申込み開始後早期に予約満席となりました。

日時 平成26年10月5日(日)11:30
場所 品川フロントビル会議室B1階 〒108-0075 東京都港区港南2-3-13
主催 株式会社 武蔵野フーズ

11:00 開場
11:30 健康宅配食ランチセミナー(無料)
12:45 開演
株式会社 武蔵野フーズ ご挨拶
13:00 (第1部講演)
『今後の展望 栄養食事指導のあり方について』
～腎臓病・糖尿病腎症患者を中心に～
東京女子医科大学病院 栄養管理部
次長 立松 栄次 先生
15:00 (第2部講演)
『慢性腎臓病の食事療法 10のポイント』
東京女子医科大学 腎臓内科・看護学部内科学
教授 荒井 純子 先生
16:30 閉演



病院の管理栄養士を中心に**266名様**にお越し頂きました。当セミナーは、日本糖尿病療養指導士の更新単位の取得も可能な為、**86名様**の**糖尿病療養指導士**の申請手続きを行いました。

■ 演題要旨

『今後の展望 栄養食事指導のあり方について』～腎臓病・糖尿病腎症患者を中心に～
東京女子医科大学病院 栄養管理部 次長 立松 栄次先生

糖尿病発症初期から患者の腎症発症・進行抑止のため、チーム医療を実践し始めてきている施設が多くなっている。しかしまだ問題点も多く、効果を挙げるまでには至っていないのが現状である。そこで今回の講演では、医療スタッフ・患者の心理、社会背景などにも焦点をあてた栄養食事指導実際と今後のあり方について述べたい。

第2部講演 15:00～16:30

『慢性腎臓病の食事療法 — 10のポイント』

東京女子医科大学 腎臓内科・看護学部内科学 兼任教授 荒井 純子 先生

糖尿病腎症の進展阻止と同様に慢性腎臓病(CKD)では食事療法の効果が疾患の予後に大きく左右するものである。従ってCKDの各病期による食事療法が如何に実践できるかが重要となる。今回のセミナーでは糖尿病性腎症を含めたCKDの食事療法の10のポイントについて最近のトピックスを交えて説明していく。



■ 第1部講演

『今後の展望 栄養食事指導のあり方について』
～腎臓病・糖尿病腎症患者を中心に～
東京女子医科大学病院 栄養管理部
次長 立松 栄次 先生

立松先生からは栄養指導のあり方について、患者様の目線に立った栄養指導のあり方を中心にご講演頂きました。また、具体的な症例から、患者様との栄養相談時のコミュニケーション方法等をご指南頂き、栄養指導の現場ですぐに実践できる内容となりました。質疑応答も盛んに行われ、講演後には立松先生が個別に質問に応じて下さり、温かいお人柄が伝わるご講演でした。



■ 第2部講演

『慢性腎臓病の食事療法 — 10のポイント』
東京女子医科大学 腎臓内科・看護学部内科学
教授 荒井 純子 先生

荒井先生からは慢性腎臓病の食事療法についてステージ別に患者様の状態をみながら、ポイントをまとめて分かりやすくご教授頂きました。また患者様の動画を使用した受け答えの講義は、日々栄養指導の現場で起きている会話や問題提議に、受講された皆様も共感されておりました。

■セミナー会場レポート



会場後方に設営しました商品展示コーナーでは、冷蔵品のすこやか膳、やすらぎ膳、冷凍の健康美膳、やわらか食を展示しました。糖尿病食、腎臓病食としての献立の立て方、商品構成について多くのご質問を頂きました。また、弊社のような冷蔵と冷凍品がある製造メーカーは珍しい為、使い分けについても興味を示される方も多く見受けられました。



ランチョンセミナーでは、たんぱく調整食のやすらぎ膳をお召し上がり頂きました。主菜の赤魚の西京焼きや、副菜、麦入りご飯等、冷蔵品のレパートリーの多さを感じて頂くことができました。また、新発売の冷凍やわらか食の試食コーナーを設け、やわらかさと美味しさを体験いただき、介護予防食のニーズが確実に増えているという現場の貴重なご意見を多数拝聴致しました。



今回のセミナーは、非常に多くの質疑応答がありました。現場ならではの意見交換や、糖尿病勉強会の方法などより踏み込んだご質問が集中致しました。食事療法への意識の高まりとともに、増々管理栄養士の活躍が期待されております。



お帰りの際は、弊社の製造しておりますパンをお土産にお配り致しました。武蔵野フーズではお客様に安心と健康をお届けできるよう、全社一丸となって取り組んでおります。今後ともご愛顧の程、何卒よろしくお願い致します！！